

かわの通信

発行 北川かわの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2023年5月18日

vol. 146

新緑と思ったら
もう夏日号

5/27 トウキョウダルマガエル等生息市民調査に参加ください



報告 4月8日いきものクラブ活動開始！

この日も午前中は定例川掃除、午後はいきものクラブの流れでした。川掃除では「川のごみを拾いたかった」と仰る若いご夫婦が新規で参加されて、頼もしい限り。また一気にいつもの川掃除メンバーの平均年齢も下がりました。ただ、いつも沢山の魚が採集できる段差スポットがいつの間にか埋め立てられており、その周辺は魚が住める状況ではなくなっていました。この日はヨシノボリ 0 匹。埋め立てにより泥も多く、歩くと泥が舞い上がり何も見えない状態でした。

公園内で採れた大きなギンブナも 5 匹ほど展示しましたが、肌寒く来園者はまばらでした。午後から雨予報だったため雨雲レーダーを見ながらギリギリまでねばり 2 時過ぎに撤収しました。

5 月 13 日、やはりヨシノボリは採れませんでした。まだ泥は多めです。泥をすくうと、立派なザリガニが数匹とウシガエルの幼生が採れました。ヨシノボリの皆さん、ご無事でしょうか？モヤモヤしてやりきれない思いです。そしてこの日も雨が降ったため、いきものクラブ

は中止となりました。

いきものクラブでは、毎月第2土曜日の13時から北川や公園内で採れた生き物を展示しています。興味がある方はぜひいらして下さい。そしていきものクラブのお手伝いをして下さる方も大募集中です。来月は晴れますように！（上田）

大きなギンブナ



報告 総会で2023年度の活動方針等を決定

北川かっぱの会では3月25日（土）に総会を開催しました。総会では、2022年度の活動報告、2022年度決算、2023年度の活動方針、2023年度予算、2023年度執行体制が承認されました。承認された2022年度の活動総括と2023年度の活動方針については、当会のホームページで見ることができます（「北川かっぱの会」で検索）。今年の総会では特に以下の点が議論となりました。

- ①将来に向けて持続可能な活動を行っていくために、各イベントの振り返りを実施した上で、**各事業の見直しを行っていくこと**。たとえば、支援者の拡大、環境学習関係の活動、外来種の防除や川そうじ等の活動、他団体とのコラボ活動、かっぱ通信等の広報活動などの改善策を検討して実施していくこと（年度途中でも実施）。
- ②新規事業として**5月末にトウキョウダルマガエル等生息市民調査、6月にいきもの調査（初夏編・蝶類）**を市と協働しながら実施し、市民主体で北山公園の生物多様性を保全していくための基礎資料づくりに着手していくこと
- ③**子育て層へのアピールと各イベントへの参加の声かけを強化していくこと**。具体的には、新規会員になりそうな人への声かけなどを担当する「新規会員の募集」の担当者を設置すること。手始めに声かけ用のパンフレットを作成し、当初は「支援会員」として誘導していくこと。
- ④各イベントの開催は、**市や公園の指定管理者との協働**や役割分担を検討した上で開催していくこと

などの点について議論を深めていきました。

2023年度も引き続き、北川かっぱの会へのご理解とご支援をお願いいたします。会員の皆様方には「かっぱ通信146号（本号）」と一緒に、別刷で決算や予算、新役員についてお知らせしています。



北山田んぼの生物多様性

北山公園の北山小寄りにあった旧学校田を、市民参加方式の田んぼに蘇られさせて3年が経過しました。この田んぼは通称「北山田んぼ」と呼ばれ、北山公園周辺の里山の原風景や生物多様性の保全を目指して稲作作業が行われています。市や指定管理者、地域住民や市民団体などとの協働で、荒起こしから種まき、代かき、田植え、草取り、稲刈り、脱穀などの一連の稲作作業が行われています。北川かっぱの会からは、ボランティアとして5名が参加しています。



北山公園では、歴史的に水田や菖蒲田、池、水路などの湿地環境が保全されてきたことから、かつて生息していた野生生物が現在も残存しています。その最も特徴的な生物は、絶滅危惧種であるトウキョウダルマガエルです。水田で作業を行っている時、多くの鳴き声を聞いたり、

成体を見かけたりします。また植物では、水田内にシャジクモ（写真）が多く見られ、この4月の荒起こし作業ではカワヂシャを発見することもできました。北山田んぼでは、これら以外にも多く希少種を見ることができ、湿地環境の生物多様性が豊かであることを確認することができます。これらの希少種を守っていくためにも、人間が関与しつくりあげてきた水田などの湿地環境の保全を継続していく必要があります。

指定管理者との連携の現状と今後

昨年7月から、東村山市の市立公園で指定管理者制度が導入され、指定管理者として「アメニス東村山市立公園グループ」が指定されました。指定管理者は市との協定に基づき、これまで市が行ってきた意見や要望対応、植栽管理や清掃業務の委託に加え、新たに市民協働事業の推進や地域のコミュニティ再生などの業務が行われることになりました。

北川かっぱの会との関係では市民協働事業の推進という位置づけで、昨年の北山わんぱく夏まつりで準備作業や本番、後片付けなどで人的な支援を受け、また外来種の防除関係では共同で広報用のパネルを作成するなどの話も進んでいます。さらにアメニス東村山公園グループのHPで、当会の紹介やブログやツイッターなどでの夏まつり情報の発信などが実施されている状況にあり、当会の連携先としてなくてはならない存在となっています。今後は、個々のイベントでのさらなる連携強化やアメニス東村山公園グループの媒体を使った広報などについて、試行錯誤しながらも実践を重ねていく方向と思われます。



ガガンボ

もうすっかり春というよりは、初夏の陽気ですね。昼間は半袖でも良いような日もありますね。そんな陽気になると、うちの玄関の外灯にも色々な昆虫が夜の灯りに誘われて集まって来ています。

先日、その中で今年初のガガンボを見かけました。ご存じですか？巨大な蚊のような羽虫です。ガガンボは蚊に似ていますが、吸血をすることはありません。なので、人間にとって健康被害は全くありません。でもその見た目から、恐怖心や不快な印象を持つ人は少なくないものと思われます。

日本で最大のガガンボはミカドガガンボで、羽を広げると8cmにもなるそうです。僕の所に飛来してきたのは、調べたところキイロホソガガンボという種類ようです。接写して写真を撮りましたが、生き物好きな僕としては正に自然の芸術品といえるほどの繊細な造形です。



このキイロホソガガンボの幼虫は、土の中に生息していて、植物の根を食べています。かつては農作物への被害はないものと考えられていたようですが、昭和57年に、北海道の厚沢部町美和で、アスパラガスの茎葉が黄変し、枯死する株が多数あり、株周辺の地中からガガンボ類の幼虫や蛹が発見され、麦類やイネ科、マメ

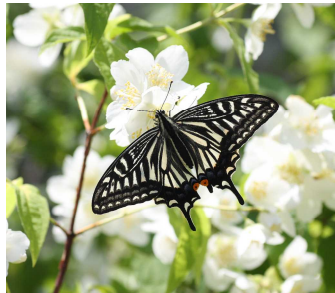
科牧草の新発生病害虫として知られるようになったそうです。幼虫は土壌中で越冬し、3月から5月下旬にかけて蛹になり、わずか三日で羽化するそうです。成虫になってからの寿命は約10日程度です。

もの言わぬ静かな初夏夜の来訪者。皆さんも、夜の灯りに集まる生き物達に少しの眼差しを向けてみてはいかがでしょうか？きっと人間の生活とは違う静かな世界が玄関先で垣間見られるかもしれませんね。(中谷)

生物多様性の保全を図っていくための市民調査について

東村山は八国山や北山公園など、原風景を思わせる自然環境が残され、そこを中心とした生物多様性が存在しています。しかし、東村山の生物多様性は危機に瀕しており、実効性のある対策を講じることが喫緊の課題となっています。そして生物多様性を保全していくためには、生物の生息実態を基礎資料として得ることが必要です。

生物多様性保全の推進には、市民の理解が欠かせないことから、かっぱの会では市民による生き物調査を行うことで市民の意識啓蒙を図るとともに、絶滅危惧種や指標となる生物（環境を反映する・身近でわかりやすい等）の生息情報を蓄積することを市に提案しています。(ビー永島)



アゲハ

序告 カエル調査や生きものの調査 (初夏編・蝶類)

かっぱの会では市みどりと公園課と協働で北山公園内の在来種の生息状況の概要を把握することとしています。これまで北山公園での生きものの調査については、市主催で2021年秋にバッタ類やトンボ類、チョウ類について、2022年夏まつり時にセミ類やトンボ類、チョウ類について、かっぱの会が協力して調査を実施してきました。今回は絶滅危惧種のカエルの個体数、指標種として適切なチョウ類のこの時期の生息実態の把握を目指します。

5月27日(土) カエル調査

9時～12時ごろ 公園あずまや集合 小雨決行
調査前に参加者に鳴き声によるトウキョウダルマガエル(左)、シュレーゲルアオガエル(右)の識別についてレクチャーし、それぞれの参加者が任意に北山公園内を踏査し、両種の鳴き声を聞いたり目視した場所を用意した地図にマッピングしていく。



6月3日(土)、4日(日) 開催時間については調整中 いきものの調査 (初夏編・蝶類)

(「菖蒲まつり」のイベントの一つとして)
調査前に配布する資料を基にチョウ類の識別についてレクチャーし、それぞれの参加者が任意に北山公園内を踏査し、目視・捕獲・撮影により確認したチョウの種名と場所を用意した地図にマッピングしていく。(ビー永島)

シリーズ 北山公園・北川のここが好き

僕が北山公園で好きなところは、自然環境が豊かなところです。

北山公園には田んぼと水路があり、田んぼにはオタマジャクシやカルガモ、水路にはメダカ(クロメダカ)やクチボソ(モツゴ)のほか運がいい場合には環境省のレッドデータブックにも記載されているトウキョウダルマガエルにも会えることがあるなど都市部で姿を消した生き物と直接触れ合えることができます。

また、北山公園の中には様々な種類の菖蒲が植えられている菖蒲田もあり、毎年6月に開催されている菖蒲祭りでは彩り豊かな菖蒲が

咲き誇っていて、毎年その景色を見るのも北山公園で好きなところの一つです。

次に公園の横を流れている北川で好きなところは2つあります。

1つは、モクズガニやカワムツなどの川魚やカワセミなど公園では見られない生き物が見られるところ。2つ目は、北山わんぱく夏まつりなどで川をせき止めてカヌー体験ができることです。

北山公園も北川もととても素敵な場所なので機会があればぜひ来てみて下さい。
(Asano)



第26回北山わんぱく夏まつり

今年の夏も次の通り北山わんぱく夏まつりを開催します。ボランティアも含め、多くの方の参加をお待ちしています。

8月6日(日) 8:30~12:30 (雨天中止)

会場：北山公園親水広場周辺

遊びメニュー：カヌー遊び(小学生以上、定員あり)、北川ウォーク+魚とり(定員あり、幼児は保護者同伴)、北川水族館、ザリガニ釣り、生きもの探し、紙芝居、木工、などを検討中。

共催：北山わんぱく夏まつり実行委員会、東村山市

協力：北川かっぱの会。



今年の小学校土曜講座

コロナ禍で停滞していました小学校土曜講座を北山小学校対象で復活します。今年度は7月22日からのスタートになります。

5/20 番外 ヤゴ救出作戦 大人のみで実施

7/22 第1回 八国山虫取りハイク

9/15 第2回 北川の魚と生き物をのぞいてみよう

10/7 第3回 トンボ採りとヤゴいかだづくり

1/27 第4回 野鳥観察会



2023年5月～7月 活動スケジュール

本 は ボランティア募集 の略、会は会員のみの略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください

諸事情により、変更、中止となることがあります。

「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ 本

毎月第2土曜 9～11時

6/10、7/8(土) 集合:北山小正門前

北川いきものクラブ ポ

7/8(土)13-15時 北山公園善行橋
付近で北川や北山公園でとれた魚
等の展示と魚とりなど。6月は菖蒲
まつり開催のため休止。

北山公園の外来生物駆除 ポ

北山いきものクラブと同日時。これ
以外の点検日はかつぱブログ等に掲載

川端会議 東村山市主催

5/20(土)10-12時 市民センター。
北山公園の整備計画方針について
検討、どなたでも参加可能です。

北山小・ヤゴ救出作戦

5/20(土)9～12時頃 北山小プー
ル前。かつぱ会員と教員で行いま
す。

春の北川クリーンアップ

5/21(日)10-12時 北山公園管理
事務所前、宅部遺跡橋または水道
橋集合；雨天中止。長靴、軍手な
どを持参。

トキョウダルマガエル等生息市民調査

5/27(土)9-12時 北山公園あずま
や集合（小雨決行）絶滅危惧種
のカエルの鳴き声を聞いて、生息個
体数を調べます。参加希望者は

CZT12221 @ nifty.ne.jp へ連絡を。
(4頁参照)

菖蒲まつりでの展示 本

6/3(土)、6/4(日)10-16時 北山公
園善行橋近く。魚の水槽展示や外
来種の展示等を行う方向で調整中
です。最新情報はかつぱブログを
ご参照ください。

北川と前川の水質調査 本

6/11(日)9-12時 廻田公民館第一
集会室集合。「身近な水環境全国一
斉調査」の一環として北川と前川の
6箇所について水質調査を実施。雨
天決行。

夏まつり実行委員会

6/4(日)16:40-18:00 サンパルネ
3階インソーレ。今年の夏まつりの
実施の具体的な方向性について検
討します。



北山小土曜講座 本

八国山虫とりハイク

7/22(土)午前5:00～7:30
北山小正門前集合

かっぱ定例会

6/4(日)18時～18時半頃

サンパルネ 3 階インソーレ。8 月頃までの活動予定を検討

ご寄付に深謝！

毛利将範様、北山いきものクラブ
の場で一般の方からご寄付をいただきました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園
いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通にえられる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。改訂版を検討中。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間 3000 円
支援会員:2年間で 2000 円
学生は2年間で 1000 円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記
今年の春は、本当に季節が前倒し。いい季節だなと思ったらもう暑い。人間の快適範囲の狭さを感じます。それにしてもこの暖かさ、暑さは温暖化だからでなく今年は特別と考えたいが、特別な時がやはり多すぎる。小さなことから、継続してをちゃんとやりたいと思うこの頃です。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp



7,1,2,6,5,3 4

左上:アライグマ

左下:ハクビシン

右上:タヌキ

右下:イタチ

